

アジェンダ21すいた 会議記録表

作成者：田中

会議名	幹事会
日 時	令和2年11月6日(金) 14:30~16:30
場 所	吹田市役所中層棟4階 第4委員会室
出席者(敬称略)	幹事：三輪信哉、福井一彦、馬場慶次郎、池淵佐知子、藤田和則 小田信子、西川由希、東田康司、馬場多佳子 事務局：丸谷、廣瀬、田中
欠席者(敬称略)	荒堀尚、水川晶子
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境監査について(資料1、2) 2 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・各部会及び団体及び行政より ・2020 神崎川河畔プラごみゼロアクション(資料3) ・生物多様性に配慮した植栽の提案について(資料4) ・フラッグシッププロジェクトより 3 会費の催促について(資料5) 4 アジェンダ21すいた細則、基準集の作成について(資料6、7) 5 セブンイレブン記念財団「環境市民活動助成」について(資料8) 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学生への協力について(資料9) ・SDGs啓発について(資料10、11) ・アジェンダ21すいた紹介パンフレットについて(別紙)
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1 環境監査 比較表 ● 資料2 MOTTAINAIガイドライン 第I部 日常行動編 ● 資料3 2020 神崎川河畔プラごみゼロアクション 報告 ● 資料4 生物多様性に配慮した植栽の提案について ● 資料5 アジェンダ21すいた個人会員年会費納入のお願い ● 資料6 アジェンダ21すいた 細則、基準等 ● 資料7 アジェンダ21すいた 会則 ● 資料8 セブンイレブン記念財団「環境市民活動助成」のご案内 ● 資料9 リサイクルの最先端～拾ったごみをフィギュアに～ ● 資料10 国際連合広報センターホームページ ● 資料11 持続可能な社会のためにナマケモノにもできるアクション・ガイド <p>添付資料：とよなか市民環境展2020チラシ、吹田市×SDGsチラシ、幹事会議事録</p>

(令和2年10月分)

1 環境監査について(資料1、2)

平成28年度から平成30年度までの3年間の試行期間を経て、令和元年度には無償で外部監査に御協力いただいた。昨年度御報告したとおり、環境政策室の力不足で、外部監査については有償での実施は認められなかったため、昨年度は無償での外部監査を実施したが、再度関係部署に確認したところ、これまで実施してきた外部監査のスキームでの実施は、有償・無償に関わらず、外部監査の実施は認められないということがわかり、今年度以降の外部監査は実施できなくなった。

また、昨年度、行政評価の中で、環境マネジメントシステムにおける環境監査について、実施方法の再構築をすべしという厳しい評価を受けた。

一昨年度、昨年度と、環境省の補助金を活用し、環境マネジメントシステムの見直しを行っており、行政評価の評価等を踏まえて、環境監査の実施方法についても見直しを行い、今年度から新しい環境マネジメントシステムを運用している。本日は、その内容について御説明させていただきたい。

【資料1、2に沿って、エネルギーマネジメント担当が説明】

外部監査はできなくなったが、次の方法で環境マネジメントシステムの質を向上させている。

- (1) これまでは、環境部以外の職員が監査員として監査を実施していたが、今後は、環境マネジメントシステムを担当する環境政策室エネルギーマネジメント担当が監査を実施することとした。
- (2) エコオフィスプランを改定して、SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN (SMAP) を策定し、目標の見直しや各部局でエネルギー削減量の設定を行った。
- (3) これまでは環境部長をトップとした組織体で環境マネジメントシステムを運用していたが、市長をトップとしたマネジメント体制に変更し、推進体制を強化した。
- (4) 日常行動での取組や設備の運用改善をまとめたMOTTAINAIガイドラインを策定し、さらなる職員の意識向上を図った。

【質問】

- ・行政評価で外部監査について、どのような評価であったのか。
⇒外部監査については、昨年度までの環境監査の中では、正式な扱いではなかったため、行政評価では俎上にのっていなかったため、評価されていない。
- ・環境部は、外部監査をどう評価しているのか。
⇒内部監査では、エネルギー使用量等の削減が低迷していたところに、外部監査

により、チェック機能を高め、エネルギー使用量等のさらなる削減に取り組みたいと考え、外部監査を実施した。その中で、内部監査では出なかったような新しい目線での御意見をいただき、有益であったと感じている。

資料の中で、エコオフィスプランが定める削減目標値を正確に理解していた職員が30%とあるが、やがて減少していくのではないかと思う。これを補うための方法を考えておかないといけないのではないか。

⇒所属長をSMAPの推進員とし、各室課に行動推進員を1名置き、各室課で毎年エコチェックシートを作成し、目標を立て、取組についてセルフチェックするよう働きかけている。

また、SMAPでは、新たに部局別の目標を立て、年1回集計をして目標達成の見える化をして、推進本部会議で結果を示し、フィードバックするような体制にしている。見える化することで、各部長が意識を持ち、環境マネジメントを進めていくPDCAサイクルを、各室課でのPDCAサイクルとは別に構築し、多層的にPDCAサイクルを回している。

・環境部各室課の推進員は何名か。

⇒環境部は6室課あるのでそれぞれの所属長と、環境部以外の室課もそれぞれの所属長で、総計約80人～90人。

2 報告

■エネルギー部会

子ども版CO₂ダイエットの準備を進めている。

11月17日に江坂大池小学校の教頭先生に趣旨等を説明し、来年度から取り上げていただけるよう依頼に伺う予定。

集客しての啓発活動について、テーマを議論している。

■自然部会

【資料4についての説明】

吹田商工会議所の改修工事に伴い、エントランス横の植込みの植替えも計画している。

→自然部会より提案「生物多様性に配慮した植込みにしたらどうか」

→了解を得、在来種の植栽をする方向で進めている。面積は約5㎡程度。

【議題】生物多様性に配慮していることを書いた看板を設置したい。→その費用をアジェンダ21すいたの自然部会の予算から捻出しても構わないか。

【意見】

生物多様性について詳しく書いたページのQRコードも入れてはどうか。

どんな案内板にするのか。→小さめの案内板。予算の範囲内で製作する。

⇒逐一報告することとし、今回については計画の予算内で支出を可とする。

■資源部会

水川氏不在。三輪氏から報告有。

大阪府が大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの中で、マイボトルや給茶に力を入れ始めているので、資源部会としても力を入れていきたい。

■NPO 法人 すいた環境学習協会（SELF）

特に報告事項なし。

■大阪学院大学

特に報告事項なし。

■大阪ガス

荒堀氏不在。

■NPO 法人 すいた市民環境会議

【資料3についての報告】

人目のつかないところに大量のごみが捨てられていた。

たばこの吸い殻も多く、個人個人のモラルの問題が大きい。

重量としては、昨年より約10kg多かった。

■行政

- ・「使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に係る協定」について
10月15日にHOYA株式会社さんと協定を締結し、市役所本庁舎やパスポートセンターなど計8カ所で回収開始。
- ・関西大学主催「吹田市×SDGs」について
吹田市制施行80周年記念事業で連携を取り、SDGsに関する講義を実施。

・フラッグシッププロジェクトより

【地球温暖化防止】

- ・すいたクールアースウィーク（令和2年10月24日(土)～11月3日(火)）の取組について
 - ◆ロビー展示（10月28日(水)～11月2日(月)@市役所本庁舎玄関ロビー）
各部会の紹介、環境省や食ロスのポスターでアジェンダの取組を啓発。
 - ◆Gステージ（10月31日(土)@Panasonic Stadium Suita）
温暖化FSPメンバーで出演。アジェンダの紹介や市が作ったボールリレーの動画を映した。観覧者は約100人程度。

【食品ロス削減】

- ・食べきり運動推進協力店が賛同するための手続きを実施要領としてまとめたほうがいいということで、その文言を協議中。
完成したら、新たな店舗を求めるために新しいエリア（グリーンプレイス、ピエラ、市民病院）で賛同を求める。（コロナの状況も踏まえる）

3 会費の催促について（資料5）

会費の今年の納期期限が11月末。→再度お知らせ予定。

2年を超えて今回の納期期限までにお支払いいただけなかった方は退会扱い。

退会扱いになる方については、資料5の米印3つ目「第5条第2項第2号により、今納期期限までに正当な理由なく、納められない場合は退会したものとみなされますので、御注意ください。」という文言を強調して送る。

1か年分と2か年分を未払いの方にも再度送る。

4 アジェンダ21すいた細則、基準集の作成について（資料6、7）

これまでアジェンダの中で細則や基準等、会則以外のものを制定順にまとめた。

→後日、幹事に送ること。（事務局）

5 セブンイレブン記念財団「環境市民活動助成」について（資料8）

温暖化のフラッグシッププロジェクトを中心に申請を検討中。

三輪代表と事務局で相談し、申請する。

6 その他

・学生への協力について（資料9）

大阪大学の清水さんより、アジェンダ21すいたへ広報面で協力依頼有。

捨ったごみを細かく砕き、特殊な液体で溶かしてから3Dプリンターでフィギュアを作ることが可能。→エコレーターやHPで広報していただきたい。

エコレーターにて、清水さんに取材して記事にするのはどうか。（事務局案）

【意見】

・清水さんが実施した内容を掲載したページをリンクにて紹介するのは構わないが、アジェンダのページにそのまま全て掲載するのは難しい。

・立ち位置がはっきりしていない。アジェンダの会員、もしくはSENSのOBとして紹介するのか、学生として紹介するのか。

学生という立ち位置で紹介するならば、今後、学生からの売り込みに全て対応する必要があるため、ある程度の線引きは必要。

アジェンダ会員、もしくはSENSのOBとして活動紹介するならば理屈は通るかもしれない。

・特殊な液体が何か、いくらかかるのか、エコなのか、最終的に燃やせるのかなど、疑問が多く、アジェンダとして責任を持ってない。

・「活動後には、私たちの活動を報告書、広報誌、ネット等にまとめます」と記載があるので、それから検討してはどうか。

⇒立ち位置を明確にした上で、活動報告書ができてから掲載を検討する。

・SDGs啓発について（資料10、11）

日常でSDGsを見えるようにするのはどうか。

	<p>→（例）電気スイッチの横にエネルギーのマークを貼る。 今後も SDGs 啓発については次第に残しておき、継続的に議論していく。</p> <ul style="list-style-type: none">• アジェンダ 21 さいた紹介パンフレットについて（別紙） 来年度の予算で外注予定。
	令和 2 年 1 2 月 2 3 日（水） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 （予定）